

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市平原1丁目10番23号

(3) 業種

医療

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度を基準年度とし、平成25年度から平成28年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

JA尾道総合病院は、組合員及び地域住民のための保健・医療・福祉・介護活動を通じて、医師会と連携し地域に貢献するため、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷低減に向けて下記の取組みを推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。

- 省エネルギー、省資源の推進
- 環境にやさしい製品の選定
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- グリーン購入の推進
- 職員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成23年度	平成24年度
二酸化炭素	-	5,790	5,580

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成23年度	平成24年度
二酸化炭素	-	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成23年度	平成24年度
メタン	-	0	0
一酸化二窒素	-	0	0
HFC PFC SF6	-	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成23年度)		削減目標		目標年度 (平成28年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂	5,791	4.0	240	5,551	
非エネルギー起源CO ₂	0			0	
メタン	0			0	
一酸化二窒素	0			0	
フロン類	0			0	
温室効果ガス 実排出量総計	0			0	
温室効果ガス みなし排出量	0	-		0	
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年1.0%の削減率				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-			-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用料の削減	ガス使用料を2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス熱源機器の運転スケジュール見直し ・排熱の有効利用 ・季節に応じた設定温度のチューニング
2	電気使用量の削減	使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空気調和機の運転スケジュール見直し ・夜間使用電力の削減 ・節電の励行
		購入電力を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・コージェネレーションシステムの活用
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

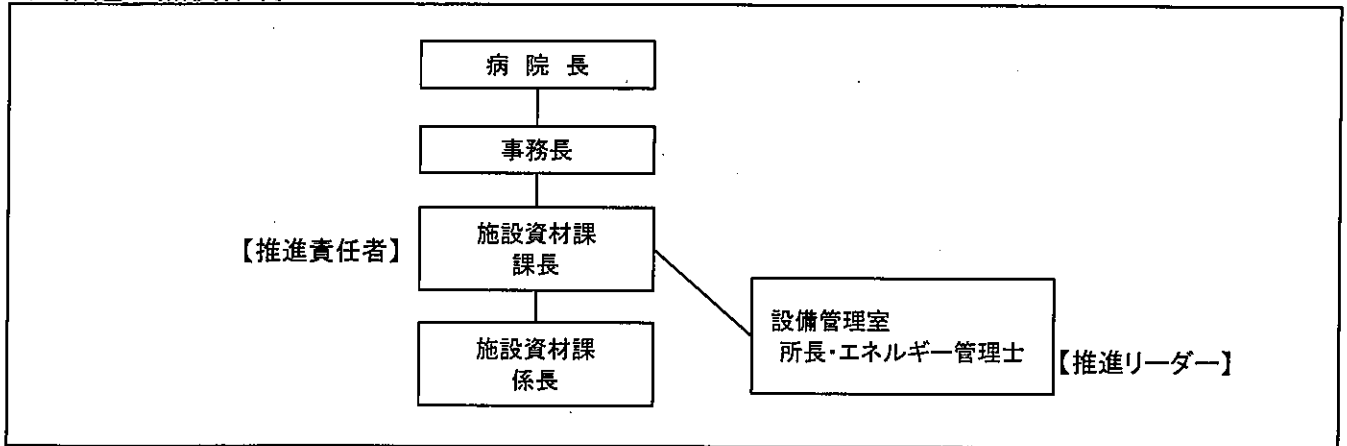
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電力削減	10 t/年	照明スケジュールの見直しによる不要箇所の消灯を実施
2	電力削減	10 t/年	夜間未使用となる設備の待機電力及び不要電力を削減する
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

施設資材課を中心として、毎年地球温暖化ガス削減計画を策定し、毎月の取組・進捗状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、連絡会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

事業所に備えつけて閲覧する。